

ロケーティング・ロッド・ミニ 取扱説明書

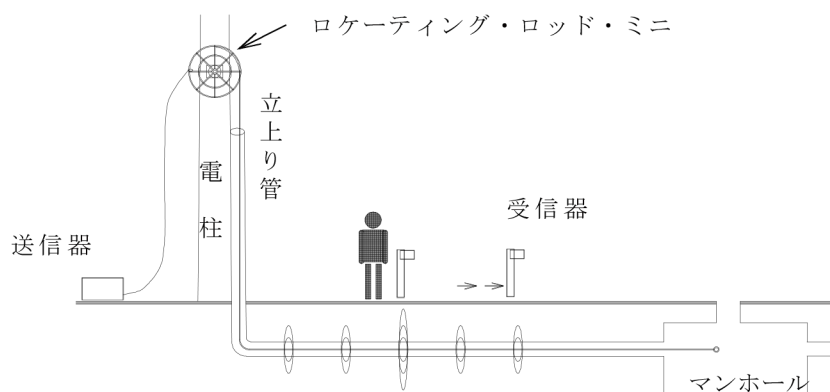
1. 概要

本器は、埋設ケーブル位置測定器を使用して「立上り管の空管ルートの探索」および「ビニールまたは金属管の空管ルートの探索」等を行うための、丈夫でかつ軽量・小型タイプのロケーティング・ロッドです。

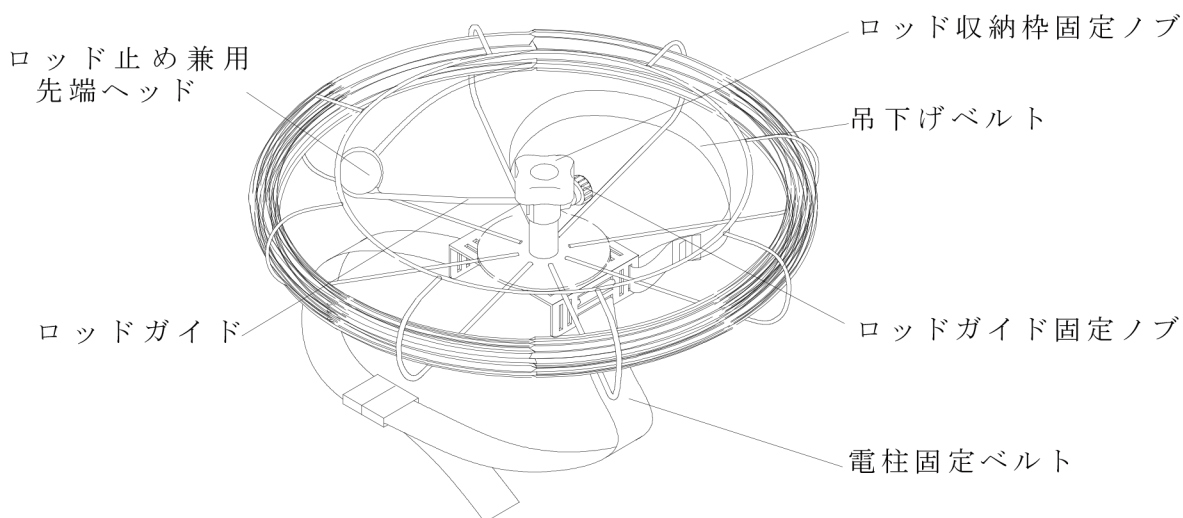
本器のロッドを管路に挿入し、送信器の送信出力を接続するだけで、地上の受信器にて埋設位置と深度を手軽に探索することができます。

また、ロッドは、焼入れ鋼線の中軸に導電性ポリマーにて被覆してありますので、導電性と剛性に優れており、50mまで挿入が可能です。

【使用例】



2. 各部の名称



3. 仕様

項目		規格
ロッド	ロッドサイズ	太さ：5mm × 3mm 長さ：50m
	材質	焼入れ鋼線＋導電性ポリマー被覆
	挿入長表示(目安)	先端より1m：黄、10m：青、20m：黄、30m：緑、40m：赤
ロッド収納枠		直径φ430mm 亜鉛メッキ処理
質量		3.5kg

3) 埋設ケーブル位置測定器との接続方法

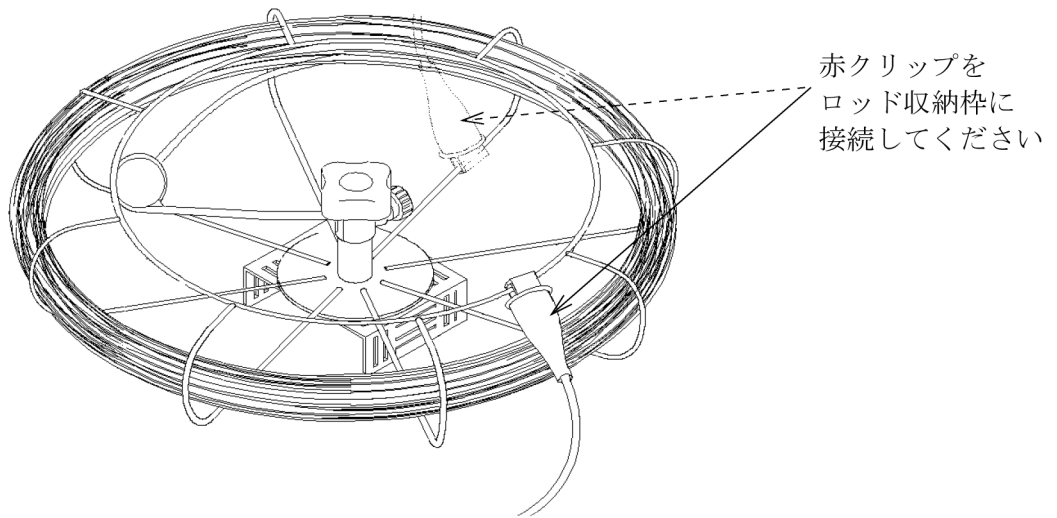
① 送信方法

埋設ケーブル位置測定器の送信器を直接法にセットし、出力端子に接続コードを接続してください。

アース（黒）のクリップは接地し、出力（赤）のクリップはロケーティング・ロッド・ミニに接続します。

② ロケーティング・ロッド・ミニへの接続方法

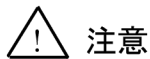
出力（赤）のクリップは下図のように、ロッド収納枠の接続しやすい場所へ接続してください。



③ 接地（アース）方法

接地は大地にアース棒を打ち込み、そこにアース（黒）のクリップを接続してください。

都心部など、アース棒を打ち込む場所がない場合は、近傍の既存アースを利用して測定することもできます。

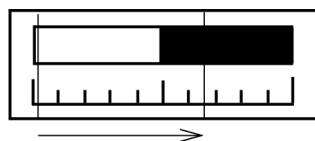


注意

路上にアースを取る場合は、コード、アース棒等の取扱いに充分注意してください。

④ 接続の確認

クリップを接続したときに送信器のメーターの針が振れることを確認してください。

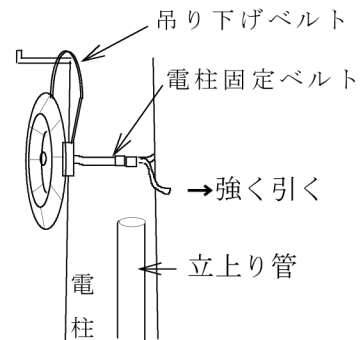


(注) MPL-H3を使用されている場合は、メーターでの確認はできません。

4. 取扱方法

1) 固定方法

- ① 電柱の立上り管の上方約30cmあたりに固定してください。本体両側から出ている固定ベルトの樹脂コネクタを「カチッ」と音がするまではめ込んでください。
- ② ベルト端を強く引き、ベルトの遊びを無くします。

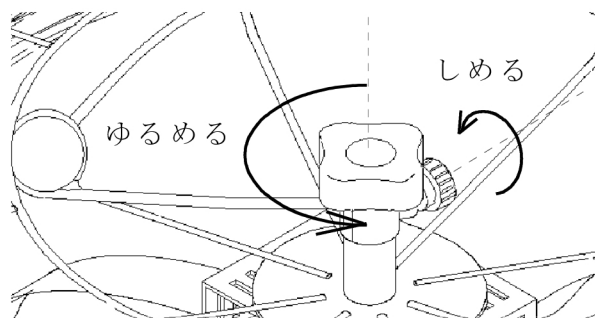


注意

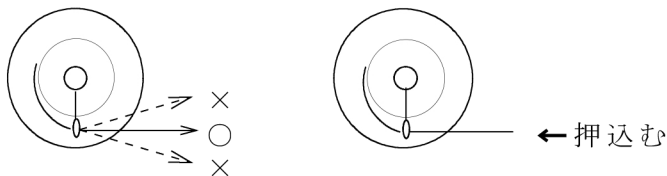
- ・本器を高所で使用するときには、ベルトで確実に固定してください。固定が不十分だと作業中の落下により、ケガや故障の原因となります。
- ・電柱にハシゴ等にて昇柱する際は、吊下げベルトを利用し、安全を確認の上、作業してください。

2) ロッドの繰出しと巻取り

- ① ロッドの繰出し・巻取りするときには、収納枠固定ノブをゆるめ、ロッドガイドを使いやすい角度にしてロッドガイド固定ノブをしめてください。



- ② ロッドを繰出すときは、ロッドに無理がかからないように真っ直ぐに引出し、巻取るときは、収納枠へ押込むようにしながら巻取ってください。



注意

- ・ロッドを急激に繰出したり、無理な角度で繰出さないでください。ロッドの折損等、故障の原因になります。
- ・ロッドの繰出し、巻取り以外の時は、収納枠固定ノブをしめてください。
- ・立上がり管から先端ヘッドを抜き取る時は注意して作業してください。不意なロッドの飛び出しにより、ケガの原因となります。